

## 2025年度「グッドデザイン賞」受賞のお知らせ 取り組み分類において初の受賞

ピジョン株式会社（本社：東京、代表取締役社長：矢野 亮）は、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「グッドデザイン賞」を受賞しました。

今年度は、商品に加え、日本全国の中学生向けに提供する「赤ちゃんを知る授業—赤ちゃんにやさしい未来のために—」が、当社として初となる「取り組み」分類での受賞を果たしました。

2025年度のグッドデザイン賞を受賞した商品と取り組みは以下となります。

# GOOD DESIGN AWARD 2025

## ■ベビー飲料容器 マグマグ 成長実感



### 審査委員による評価コメント

乳幼児のコップ飲みへの移行期間を、同社の哺乳瓶の口を成長に合わせて付け替えてサポートするという発想のアイテム。一般的と考えられていた乳幼児の成長過程を見直し、新しい飲み口の開発で家族の選択肢を増やした点が評価された。失敗や練習を前提とした個々の成長進度に寄り添い、乳幼児の飲み方を広く許容する社会への発信を含めて大変好感が持てる。家族それぞれの進め方で飲みやすい形状を確認しながら、まだ早いと感じたら今までのものを使う。製品名が表すように、家族が子どもの成長を実感しながらゆっくり見守ることを応援する温かさが感じられた。

## ■食事補助具 自分で食べるミールキャッチ



Celebrate babies the way they are

## 審査委員による評価コメント

自力で食事を続けたいという願いに寄り添うデザインである。従来は「特別な食器」に頼らざるを得なかった介護のあり方を、長年使い慣れた器に取り付けられる発想で刷新した点が評価された。日常の食器にワンタッチで加えられる補助具は、介護用品を「特別なもの」から「暮らしの一部」へと変える力を持ち、利用者の心理的負担を軽減する。落ち着いた色彩や食事中に外れにくい設計も、安心感と快適な食事体験を支えている。

## ■ 教育プログラム 赤ちゃんを知る授業—赤ちゃんにやさしい未来のために—



## 審査委員による評価コメント

少子化や核家族化により育児や赤ちゃんに触れる機会が乏しい子どもが増えているという課題に対し、客観的に自分の存在を見つめ始める中学生を対象に教育プログラムをデザインした点に大きな意義がある。身体的に体感できる学習を組み込み他者理解を促す点が福祉教育として大きな効果を持つだけでなく、宿題を通じて自らの成育の過程での家族の経験を学ぶ過程は、自分が周囲に支えられて育ったことを認識し他者への思いやりを育むきっかけとなっている。単なる知識の習得にとどまらず、行動変容や社会的感受性を育むプログラムとして優れている。

なお、当社が受賞した商品と取り組みは、東京ミッドタウンで開催される「GOOD DESIGN EXHIBITION 2025」で展示されます。(全受賞対象商品を展示)

■展示期間：2025年11月1日(土)～11月5日(水) (5日間) 11時～19時 (11月1日は13時開場/11月5日は18時閉場)

<https://www.g-mark.org/learn/past-awards/gda-2025/gde2025>



ピジョンブランドは、育児用品をはじめ、マタニティ用品・保育サービスなどを手掛けるブランドです。60年以上に亘る研究に基づき、製品やサービスを提供することによって、この世界をもっと赤ちゃんにやさしい場所にしたいと考えています。そして、赤ちゃんが生まれながらに持つ素晴らしい力を育み、すべての赤ちゃんがありのままに輝ける世界の創造を目指していきます。

赤ちゃんにやさしい未来に向けた世界中に広がる私たちの取り組みを下記でご紹介しています。

<https://www.pigeon.co.jp/vision-of-a-baby-friendly-future/>